

第7回課題

経営学部キャリアマネジメント学科

2310190099

黒木 凜

1. グルテンフリーきのこの山、たけのこの里

なぜなら、小学校の時とかアレルギーで1人だけ同じものが食べられない子とかがいたので、そういう子が食べれるお菓子って少ないと思ったから。

2. 発散技法と収束技法を分けて行う理由は 思考の質を高めるために、目的が正反対だから です。

発散技法は「できるだけ多く・自由にアイデアを出す」段階で、批判や評価をすると発想が止まってしまいます。

収束技法は「出たアイデアを選び、絞り込む」段階で、冷静な評価が必要になります。

つまり、

発散中に評価すると創造性が下がる

収束中に自由発想をすると決めきれない

ため、アイデアを"広げる時間"と"選ぶ時間"を分けて、どちらも最大限の効果を出すために分離する必要があるのです。